

 <p>第288号</p>	<p>小千谷市 青少年育成センター</p>	<p>〒947-0031 小千谷市土川1丁目5番53号 Tel 0258-82-6750 Fax 0258-82-6750 相談専用電話 0258-82-6771 e-mail: s-center@city.ojiya.niigata.jp URL http://www.city.ojiya.niigata.jp/</p>
--	---------------------------	--

子どもたちの健やかな成長を願って

小千谷市民生委員・児童委員（主任児童委員） 関 昌子

小千谷市には、厚生労働大臣から委嘱された78名の「民生委員・児童委員」がいます。一般的に「民生委員」と呼ぶことが多いですが、「児童委員」も兼ねていますので、正式には「民生委員・児童委員」といいます。地域住民の相談に応じ、必要な支援を行っています。その中で、子どもや子育て家庭への支援を専門に行うのが、「主任児童委員」で、市内に9名います。

主任児童委員の主な活動は、一つ目に子どもに関する相談・支援活動です。ここでは18歳未満までを対象としています。

本人や保護者の方から直接相談電話をいただいたり、学校や町内の民生委員・児童委員を通じて連絡をいただいたりします。電話、直接面談で対応しています。

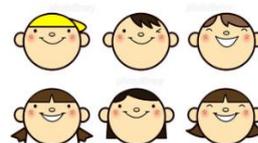
相談内容は、いじめ、不登校、虐待、子どもの所在不明、家庭の経済的理由から来るさまざまなトラブルなどがありました。

解決方法を一緒に考え、学校や保育園、教育センター、子育て支援課、警察署、児童相談所、県の生活トラブル相談センター、病院、福祉制度の紹介などを行いました。

二つ目の活動として、研修会や学校行事への参加、登下校の見守りなどを通して、子どもたちの現状を把握し、情報収集を行います。中学校区単位で開催される「子どもを語る会」や「いじめ対策会議」などでは、幼・保育園や小・中学校、高校などの職員・PTA役員、保護司、警察署員など幅広い立場から子どもたちについて語り合っています。

私は、主任児童委員6年目ですが、「虐待」「誹謗・中傷」「貧困」「ヤングケアラー」「LGBTQ」などで悩んでいる子どもたちが増えてきていること、そしてほとんどの子どもが相談できずに一人でかかえてしまっていることにやるせなさを感じています。一人で悩まず、誰かに相談してほしい、力になれる福祉制度があることを知ってほしいと思っています。

どんなことにも真剣に取り組む子どもたちの姿は、みんなに元気と希望を与えてくれます。子どもたちの笑顔は、社会全体を明るくする力があるのです。少子・高齢化、情報化時代の今だからこそ、もっともっと子どもに人に寄り添って、互いに支え合いながら生活することが必要だと思います。気になる子どもの姿に気付かれましたら、町内の民生委員・児童委員、または主任児童委員までご連絡ください。子どもたちが健やかに成長できますよう力を合わせましょう。



「おぢやまつりでの合同パトロールを実施しました」

三年ぶりにおぢやまつりが開催され、それに合わせ合同パトロールを実施しました。合同パトロールとは、小千谷警察署・少年警察ボランティア連絡会の補導員・青少年補導委員の3団体が一緒に、市内やおまつり会場を巡回し、危険な箇所の有無を確認したり、青少年に声をかけたりして見守りをする活動です。出発式では小千谷警察署、増田生活安全課長さんより「今日は子ども達の補導と言うより、久しぶりのお祭りを楽しんでいる子ども達を見守ってください」とお話があり、3班に分かれ市内を巡回しました。小千谷にこんなたくさん子ども達がいたのかと改めて感じるほど、子ども達や家族連れがお祭りを楽しんでいる様子を見て、早く普通の生活に戻りたいと実感しました。あまり夜の街を歩かない私たちには、思った以上に暗い道に危険や、街灯の改善の必要性を感じました。今年度の青少年補導委員さんの参加は5名でしたが、来年度はもう少し多くの皆さんから参加していただけることを期待しています。



〈増田生活安全課長さんよりご挨拶いただきました〉

☆～「愛の一声」～☆ 令和4年8月～9月

* 街頭声かけ活動での委員さんの感想を一部抜粋してご紹介します。

- ・小千谷病院跡地の裏道は崖のようになっており、危険が潜んでいるように感じた。なかなか夜、小千谷市内を歩く機会がなかったが、とても貴重な経験をさせていただいた。
- ・体育館のロビーにいた子どもはこちらの存在を気にしていた感じがあり、見回りは何かしらの効果はあり、挨拶のやり取りとしても良い影響を感じた。
- ・暗い時間は人通りも少なく歩いてみないとわからない危険な場所などがわかってよかったです。
- ・声かけ活動4回行いました。小千谷の子ども達は声をかけると大きな声で返事を返してくれます。
- ・今回は学校からのリクエストもあり、朝と夕方にさせてもらいました。この方法も良いかと思いました。
- ・谷高生に関しては、逆に挨拶してくれる子もいたので、こちらとしても気持ち良かったです。
- ・無灯火の自転車に会いました。街灯のない暗い道だったので危険だなと感じました。

〈青少年育成センターより〉

今年度の青少年補導委員さんによる声かけ活動は、10月末でほぼ終了します。（あと1つの班が11月に実施予定）各班の皆さんから色々な地域・場所で声かけ活動をして頂きました。ありがとうございました。この活動で小千谷の大勢のお子さんに声をかけて頂きました。

そして、委員の皆さんからは、「子ども達は元気で返事を返してくれる」という感想が多く、家庭の力も感じる事ができました。

